

令和 6 年度

事業報告書



社会福祉法人土佐厚生会

— 目 次 —

土佐厚生会.....	2
障害者支援施設こくふ.....	9
相談支援センターアルペジオ.....	11
就労継続支援B型事業所ウィール社.....	12
就労継続支援B型ワークセンターファースト.....	17
障害者福祉ホームコーポラスこくふ.....	21
障害者支援施設ステージ桜が丘.....	23
特別養護老人ホーム八流荘.....	28
ホームヘルプステーションやながれ.....	32
小規模多機能型居宅介護事業所南風.....	33
障害者支援施設とさ.....	34
就労継続支援B型事業所カトレア.....	39

社会福祉法人土佐厚生会

1 法人をめぐる社会環境

トランプ米大統領が4月2日に相互関税を公表後、9日には90日間の一部停止を発表するなど、政策運営に対する不確実性に世界は翻弄されている。トランプ大統領の再登板により、アメリカの保護主義的政策の強化に伴う自由貿易体制の弱体化は、再びインフレを招き、金融リスクを高めるなど、世界経済の非効率化が強く懸念されている。

さて、2025年3月24日「日本福祉施設士会」第2回代議員会において、全国社会福祉協議会の金井正人常務理事より開会挨拶のなかで、社会保障・社会福祉をめぐる情勢報告がなされた。

全社協政策委員会が策定した「全社協福祉ビジョン 2020」については、2025年度中の改定に向けて政策委員会で引き続き検討を行い、成案をめざす。

- (1) 地域共生社会の実現に向けた地域づくりを推進する
- (2) 重層的な連携・協働に基づく多様な実践を進める
- (3) 権利擁護を推進する
- (4) 福祉サービスの基盤維持と質の向上を図る
- (5) 福祉を支える人材の確保・育成・定着を図る
- (6) 福祉組織の基盤を強化する
- (7) 災害に備える
- (8) 福祉のミッション（使命、役割、存在意義）を発信し、新たな時代の福祉の基盤づくりに取り組む

「福祉ビジョン 2025」の実践に向けた取り組みとして現在8つの柱が検討されている。今後における福祉動向については、生産年齢人口の減少がますます加速し、利用者様、地域の皆様の福祉ニーズの多様化かつ複雑化が予測されるなど地域福祉の維持と発展が最重要課題となってくる。

社会福祉法人を取り巻く状況も経済的環境要因の分析が不可欠となり、包括的な福祉サービスの提供が強く求められるなかで、施設整備計画等における各法人の対応は極めて困難な状況が続いている。「都有地活用による福祉インフラ整備事業」についても、予定事業者の社会福祉法人から辞退する案件が出始めている。建築費の高騰により施設費整備に関する自己資金が調達困難になるなど事態は深刻さを増している。

本会が昭和56年4月から安芸市赤野甲にて設置経営をしている、特別養護老人ホーム八流荘の改築整備における状況は、工事用運行路造成工事に始まり、内装・建物解体工事、新設設備基礎躯体工事、新設配管配線の切替を終え、無事整地工事が完了した。高齢者の安全・安心・安楽と、地域住民の避難施設としての役割を適切に果たすべく、名称も新たに「アニマート・やながれ」(Animato とは、元気に・活き活きと)の改築整備を引き続き着実に進めて行かなくてはならない。

総務省統計局の人口推計(-2025年4月報-)によると、2024年11月1日現在(確定値)の総人口は、1億2378万4千人で、前年同月に比べ55万8千人の減少(▲0.45%)となっている。

- ・15歳未満人口は1379万8千人で 前年同月に比べ34万2千人の減少 (▲2.42%)
- ・15～64歳人口は7374万3千人で 前年同月に比べ23万人の減少 (▲0.31%)
- ・65歳以上人口は3624万3千人で 前年同月に比べ1万5千人の増加 (0.04%)
- 〔うち75歳以上人口は2083万9千人で前年同月に比べ70万6千人の増加 (3.51%)
- 〈日本人人口〉1億2022万7千人で前年同月に比べ89万人の減少 (▲0.74%)
- 〈外国人人口〉355万7千人で 前年同月に比べ33万2千人の増加 (10.30%)

2025 年 4 月 21 日高知県産業振興推進部統計分析課より公表された高知県の推計人口月報によると 2025 年 4 月 1 日現在高知県の人口は 648,313 人、前年同月差▲11,279 人、(男 307,068 人前年同月差 ▲5,219 人 / 女 341,245 人 前年同月差 ▲6,060 人)となり、65 万人を割り込んだ。

死亡数が出生数を上回る自然減は、8,685 人、転出が転入を上回る社会減は、2,594 人となった。因みに 2025 年 3 月中の人口増減は、2,974 人の減少となっている。

関係自治体の人口(2025 年 4 月 1 日現在)

自治体名	総人口数	男性人口	女性人口	65 歳以上総人口数
高知市	311,188 人	145,564 人	165,624 人	98,886 人(高齢化率 31.8%)
安芸市	14,743 人	6,999 人	7,744 人	6,441 人(高齢化率 43.7%)
南国市	45,321 人	21,475 人	23,846 人	14,843 人(高齢化率 32.8%)
土佐市	24,524 人	11,823 人	12,701 人	9,203 人(高齢化率 37.5%)
大豊町	2,733 人	1,318 人	1,415 人	1,681 人(高齢化率 61.5%)

この高知県推計人口に関する濱田省司知事のコメントとして、「産業振興を通じた若者所得の向上や、共働き・共育でのさらなる推進を中心として対策を強化する」と発信されている。

本会が掲げる社会福祉法人の役割は、昨今の人口縮小社会の現状を鑑みた、地域の自立的・持続的発展を見据えながら、よりよいサービス提供のための環境整備に努めることを究極の使命としており、具体的には、利用者様の特性と地域の皆様の要望に応じた柔軟な福祉施策(関係条例の改正等)が必要急務であると考えており、現在も本会の揺るぎない信念として、高知県に対する要望を行っている。

社会福祉法第 4 条(地域福祉の推進)には、「地域住民、社会福祉を目的とする事業を営む者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない。」と明記されている。

本会は、社会福祉を目的とする事業主体として、地域社会の脆弱化を防ぐべく、人口減少局面における社会経済状況の変化を見据え、長期的展望に立った持続可能な事業改善を常に進めることを旨としており、県内東部地域が抱えている諸課題の克服に向けて、地域、企業、行政等における協働のあり方が極めて重要であると考えている。

本会が主体となり、地域が必要とする福祉活動を継続的に推進すべく、必要な要望を関係自治体に申立てても、その自治体からの協力がなければ、「地域福祉の推進」に向けた活動は停滞し、最終的には絵に描いた餅となってしまう。本会及び地元自治体である安芸市からも既に要望がなされているとおり、施設改築に伴う「4 人部屋多床室」の継続に向けた、高知県との協議を一刻も早く進展させ、具体的活動を実践しなければならない。

2 法人本部事業の総括

本会の理念とする「愛情」「奉仕」「連帯」を基本に、利用者様の安心・安全な生活ができる環境及びスタッフが安心して利用者様の支援ができる環境づくりに努めた。業務執行理事と協力し、法人の事業計画への取り組み、雇用要件の緩和、資格取得に向けた支援など様々な制度の見直しを実施、リファラル採用制度を利用したものを含む中途採用者の増加や資格取得者から費用の補助申請など一定の成果は見られた。さらに労働基準法の改定に基づく育児休業等規程、介護休業等規程など諸規程の見直しを実施、働きやすい環境づくりに努めた。

3 事業報告

(1) 役員、評議員等の活動

ア 役員等の活動は以下のとおり。

活動名	開催日・場所	主たる審議内容
理事会	令和6年6月6日 (森連会館1階大会議室)	令和5年度事業報告・決算、諸規程の変更、工事の実施、評議員会開催
	令和6年9月7日 (藤の間・オンライン併用)	事業進捗状況、工事契約の締結、補正予算、定款の変更 事業所代表変更、評議員会開催
	令和6年11月30日 (土佐厚生会藤の間)	事業進捗状況、事業の廃止、事業の休止、諸規程の変更、 評議員会開催
	令和7年3月8日 (藤の間・オンライン併用)	令和7年度事業計画・予算、補正予算、工事の実施、定 款の変更、諸規程の変更、評議員候補者の推薦、評議員 選任・解任委員の選任と委員会の開催、評議員会開催
評議員会	令和6年6月22日 (藤の間・オンライン併用)	令和5年度事業報告・決算、工事の実施
	令和6年9月21日 (土佐厚生会藤の間)	事業進捗状況、工事契約の締結、補正予算、定款の変更
	令和6年12月14日 (土佐厚生会藤の間)	事業進捗状況、事業の廃止、事業の休止
	令和7年3月22日 (藤の間・オンライン併用)	令和7年度事業計画・予算、補正予算、工事の実施、定 款の変更
監事	令和6年5月17日 ～5月20日	書面監査
	令和6年5月24日 (法人本部)	法人事業、会計経理についての監査

イ 各種会の活動は以下のとおり

名称	開催日・場所	主たる審議内容
褒章・懲戒委員会	令和6年6月6日 (森連会館1階大会議室)	行政機関による、障害者虐待防止、障害者の養 護者に対する支援等に関する法律第16条に基 づく調査結果を受け、本会の懲戒処分協議
	令和7年3月9日 (藤の間・オンライン併用)	各種団体の令和7年度表彰者の推薦選考、本会 永年勤続表彰者の選考
経営会議	5月・8月 11月・2月 (法人本部)	事業の進捗状況を3ヶ月に1回理事会で報告す るに当たり、施設長、管理者等が会し、事業の 進捗と問題、課題と対策について審議
業務執行理事会	毎月1回 (法人本部)	法人内連絡調整、重要案件の調査・審議

(2) 施設機能の強化への取り組み

ア 指導監督の推進

(ア) 会是に沿った支援ができるよう経営理念の徹底

昨年度と同様にマニュアルの見直しをしたが、特に修正の必要がなかったため、現行
版のマニュアルに沿った支援を実施した。

- (イ) 法人の中期計画書及び短期計画書の精査
 中期事業計画書及び短期計画書の策定は計画に沿って進め、10月の業務執行理事会において書式、提出期限及びヒヤリング方法を検討した。それを持ち帰り、予定通り提出と見直し、再提出を経て、3月の理事会、評議員会で承認を受けた。
- (ウ) 各施設の事業の進捗状況等の報告を受け、その状況を把握し指導・監督
 短期計画に掲げた事業計画の進捗状況については、それぞれ3ヶ月ごとに開催される経営会議において施設長及び管理者から報告され、その翌月開催される理事会、評議員会に向けて資料の作成と報告をした。また、虐待や身体拘束の事例は発生しなかったが、事故事例についてはその都度報告があり、業務執行理事会で聞き取りと再発防止に向けて協議をし、スタッフに周知した。スタッフの超過勤務、有給取得状況については、法人本部で毎月集計し施設長及び管理者に通知をし、年間の状況は6月の事業報告書に掲載した。

イ 非常時の事業継続対策強化

(ア) サービスを実施できる体制の確立

令和5年度作成した感染症対策指針及び事業継続計画について、各ゾーンともに記載内容はほぼ同じ内容となっているが、詳細な部分の打合せができていないため一部対応策にばらつきがあった。整合性をとるため業務執行理事会並びに防災会議で内容確認と見直しを実施した。防災会議で協議、確認した内容を反映させ、法人内で統一したフォームで作成することとする。

(3) 利用者サービスの向上に取り組む

ア スタッフの育成の強化

(イ) 研修受講者の気づきや知識を部署内で共有、実践できるシステムづくり

研修システム構築について、関連団体に効果的な研修体制、内容について相談と情報収集を行った。一般財団法人が進める研修体制等の情報もあったが、その団体との交渉、内容検討などに至っていない。

(イ) 部署長としての役割理解とリーダー育成の強化

キャリアパス表を用いて各施設長から主任の役割等を説明した。また、リーダー育成のため主任以上の研修を計画、関連団体から講師の紹介を受けたが、詳細な打ち合わせができていないため実施出来ていない。

a 階層別研修

(a) 組織性 [主催：高知県福祉人材センター・介護労働安定センター]

研修名	受講者・研修内容
先輩職員研修	受講者:勤続2年～3年のスタッフ1名
	先輩としての働き方、後輩への関わり方の基本姿勢について学んだ。受講者は、熟練ワーカーと未熟練ワーカーに求められていることを理解し、後輩の能力を引き出せる、伸ばすことができる職員になることを目標とした。
中堅職員研修	受講者:勤続3年～5年のスタッフ1名
	中堅職員としてのキャリアデザイン、キャリアアップ、役割と行動について学んだ。グループワークでは、事前課題に基づきそれぞれが自分の考え方を発表、ディスカッションを行った。受講者から他職種の職員から様々

	な意見、考え方を聞き、とても参考になったと同時に、それぞれの役割と行動の重要性を感じたとの報告があった。
中堅職員 ステップアップ研修	受講者:勤続5年以上のスタッフ3名 求められる役割と後輩の指導、育成の基本・手法について学んだ。個人ワークやグループワークを通じて自らを振り返り、後輩に対する伝え方、聴き方の重要性を学んだ。また、後輩職員から先輩職員の不適切な言動の指摘があった場合、同調するのではなく言い分を正面から受け止め、先輩、後輩職員双方に事実確認をし、解決につなげる行動をとれるよう意識して業務に臨むことを目標とした。
チームリーダー研修	受講者:リーダー層等のスタッフ2名 リーダー層の役割と自らのキャリアの方向性について学んだ。リーダーが自らの役割を遂行するには後輩の育成が必要不可欠であること、自分に何ができるのか、やりたいことは何か、どのような関係性を築いていきたいかを考え、そのために今何をしなければならないかを再認識する時間となった。
メンバーシップリーダー研修	受講者:リーダー層等のスタッフ3名 職員一人一人がその能力を発揮し利用者ケアができるチーム作りについて、その考え方、進め方など基本的なことを学んだ。
生産性向上支援訓練	受講者:リーダー層等のスタッフ2名 後輩指導力の向上と中堅職・ベテラン職員の役割というテーマで、ティーチングとコーチングを活用した指導方法による、課題解決に向けた先導的役割について学んだ。コーチングコミュニケーションをとることにより、職場内の信頼関係の構築或いは意識、モチベーションの向上につながる事が理解できた。

b リーダー層の研修

研修概要	対象者・研修内容
人事考課者研修	受講者:4等級以上・役職者 実施月:9月・10月・3月 施設やチームといった組織が、円滑に仕事をこなせるようなマネジメントを行う役職者の役割と人事考課との繋がりについて、昨年度に引き続いて学んだ。具体的には、人事考課の目的、効果の対象となる行動や業務を通して部下の仕事ぶりが把握できているか。また、定型業務と補助業務について理解を深め、グループワークを通して、等級に見合った業務内容になっているか、或いは適正に評価されているかの検証を行った。

イ 良質のサービスの推進

(ア) 事故防止に対する意識の徹底と事故防止委員会の指導強化

事故防止委員会活動の指導強化については、毎月開催している業務執行理事会で各施設、事業所から本部へ提出された事故報告書を基に、状況確認と事故の背景について検討、対策などの検証を行い、その結果を施設に伝え、事故防止委員会で再発防止に取り組んだ。

(イ) 虐待に対する意識の徹底と虐待防止委員会による虐待予防

各施設、事業所で作成した虐待防止委員会計画に沿って取り組んだ。昨年3月に法人内で発生した不適切支援事例について、本年度に入り業務執行理事会で確認・指導方法などを話し合い、各施設で再発防止に取り組み、本年度の虐待事例報告はなかった。さらに虐待防止マニュアルの見直し、虐待防止及び身体拘束等の適正化のための指針・要綱を見直し、指針は法人ホームページに掲載した。

(4) スタッフの確保

ア 人材マネジメントシステムの構築

(ア) 人手不足を解消するため職員採用計画の作成

職員採用計画を基に、スタッフ確保に向けた活動として、安芸市社会福祉協議会の依頼で、安芸市内の中学校で開催されたふくし教育に参加、ステージ桜ヶ丘の現状を説明した。本会の事業に興味をもった生徒から職場体験の申し出もあり、主催者側からも今後も引き続きこの取り組みに参加してほしいとの依頼があった。一方介護労働安定センターが実施する介護労働講習に講師として関わり、情報収集に努めた。かいご・ふくし就職面接会、ふくし就職フェア等に参加し面談を実施するなど求人活動を行った。その活動からの直接採用ではないが、新卒者2名を採用することができた。また、SNSの効果的な活用、運用について、介護労働安定センターに相談、専門業者の紹介をいただいたので、引き続き運用に向けて検討をしていくこととした。

(イ) 外国人材を受入れ日本での生活、仕事に慣れてもらう取り組み

外国人材の受入れ準備は、年度当初4月から開始した。受入れを予定している八流荘、ステージ桜ヶ丘のスタッフを対象に、管理団体による説明会を実施した。外国人材の出身地である、インドネシアからすでに外国人材を受け入れている他法人に施設見学を依頼し、視察研修と実習指導に関する意見交換会を実施した。施設見学後その取り組みを参考に、技能実習生の実習内容、マニュアル、利用者名簿等オリエンテーション資料を作成した。受入れに必要である担当者ごとの資格を、施設長、介護スタッフ、施設事務スタッフ、本部スタッフそれぞれが取得した。外国人スタッフの住宅は、通勤や生活環境を考慮しステージ桜ヶ丘の近くに決定した。家電や家具、食器類は法人で準備する必要がある、施設のスタッフに提供依頼をする一方、不足する物品についてリストアップし物品を購入・搬入に向けて準備を進めた。年末までに家電等を搬入、入国日までに生活用品等の物品やスタッフから提供された私服等の搬入を完了した。入国後は安芸市役所にて転入手続き、金融機関や郵便物など必要な機関への登録申請等を支援した。入国後のオリエンテーション期間中、安芸市内の各種量販店にて買い物支援及び通勤時の注意事項、通勤ルートを並走し確認を実施した。勤務開始月は毎日、2か月目は週単位で業務終了後に困りごと等について面談を実施し、3か月目以降は指導者にその都度質問できる体制を確保した。今後は、現在の取り組みに併せて、地域や季節ごとのイベントに参加するなど、本会で安心して楽しく仕事ができる環境を作り、新たな外国人材の雇用に繋げていくこととする。

イ 職員満足度の向上・帰属意識の醸成

(ア) 意識調査の実施と課題についての対策

令和6年度の計画では昨年に引き続きアンケートを実施する予定であったが、前年度のアンケートの中で検討ができていない項目もあり、その意見を再度見直し整理をすることとし、アンケート内容の確認をした。

(5) 経営基盤の強化

ア 施設・事業所の経営改善

(イ) サービス活動増減差額減少のため、必要経費の見直し

必要経費の見直しとして業務委託費の見直しを実施した。業務委託費の大半を占める給食委託費について、3ゾーンそれぞれ委託業者が違い、ゾーン単位で交渉をしてもらっているが、本年度は一業者による値上げが実施された。その他では本来スタッフの業務として分類される、清掃や環境整備については、スタッフの確保が困難なことから委託せざるおえない状態である。専門的知識の必要な消防設備調査の業者を一つの業者にまとめることにより価格交渉の予定をしている。

5%を目標とした生活施設のサービス活動増減差額は、平均2.6%であった。

報酬改定、稼働率の改善から収入増とはなっているが、水道光熱費特に電気料金の高騰により収支差額は改善されていない。その他給食材料費、介護用品費及び消耗品費の一部商品での値上げがあった。

イ 施設整備事業の実施

(イ) 老朽化した八流荘の建て替え

4人部屋多床室を認める条例改正にむけて、地元自治体等の協力を得ながら高知県への交渉を続けたが、進展はなかったので引き続き交渉をしていくこととした。

八流荘建築用地の一部となる障害者支援施設あきの建物解体工事については、予定通り進んでおり、3月末には2階建て部分の躯体を残しすべての建物の解体及び電気設備、給排水設備等の八流荘との切り離し工事も完了した。残る躯体解体と整地について工事期間の5月末をめどに進めている。

(6) 本部事務局の取り組み

(イ) 本部スタッフの退職より、機関誌の定期的な発行、ホームページを活用した情報発信ができていなかった。前年度後期に補充ができたので、役割分担することにより年間2回の発行を計画していたが1回のみの発行となった。また、ホームページやSNSを活用した法人の情報発信は改善し行事などを掲載している。求人に関する部分は施設から原稿、写真などを提出してもらっているが、変更に至っていない。

(ロ) 本会で最初の外国人材雇用に取り組んだ。管理団体の支援を受けながら、担当業務執行理事と協力し、入国までの手続き関係、入国後の住宅、生活必需品等の手配をし令和7年1月にインドネシアから、4名の特定技能外国人を受け入れた。

(ハ) 労働基準法の改定に伴う育児休業等規程、介護休業等規程の変更とスタッフへの周知方法の徹底をした。

(ニ) 臨時スタッフの最低賃金への対応策を検討し、業務執行理事会に提案、決定後スタッフに周知した。

(ホ) 会計ソフトの保守期間終了に向けたハード面の整備及び業務効率化のため、法人内の連絡手段としてコミュニケーションツール、ファイル共有ソフト及びクラウドサービスなどの導入に関して調査を実施し、法人本部内に導入し活用を開始した。

(7) その他事業報告

ア 法人創立44周年記念行事の実施

コロナ過の影響から持ち越しとなっていた、本会創立40周年記念事業に替わる事業として、法人開設44周年記念公演舞台「満月」を、令和6年8月19日高知県立美術館ホールで開催した。令和6年1月に記念行事として演劇を企画、高知県、安芸市、高知県身体障害者(児)施設協会、高知県社会就労支援センター協議会及び高知県福祉施設士会の後援と関係機関の方々にも協力していただき計画を進めた。当日はお招きした法人内の利用者様やご家族、他法人の利用者様、地域住民の方々に加えて一般観劇者など370名余りの方をお迎えし、多くの方々に楽しんでいただいた。

障害者支援施設こくふ 事業報告

1 事業の総括

会である愛情・奉仕・連帯に基づき、利用者様の人権の尊重、自己決定、自己選択及び自立に向けた支援を行い、利用者様が安心安全な生活と社会参加ができるよう支援に努めました。また、利用者様満足・スタッフ満足・経営満足をバランスよく向上することで『経営安定の基礎を作る』ことを目指しました。利用稼働率の上昇に対してスタッフ増員が追いついていないため、経営の安定とまでは言えませんが、基礎作りに一定の成果はありました。

2 事業報告

事業計画(1) サービスの質の向上

ア 事例研修 目標：年三回の発表にて事例研修の定着を図る

イ 部署計画 目標：部署計画達成率 75%以上

事例研修は中四国身体障害者施設協会施設職員大会の発表、福祉 QC 全国大会の発表、コロナクラスターの対応のため、実施できませんでした。

部署計画は達成率 95%で目標を達成しました。

事業計画(2) 環境整備

ア 修繕費用の確保 目標：経常増減収支差額率 10%以上

イ SDGs に沿った設備改修 目標：故障している空調の改修率 100%

ウ ICT 化推進 目標：インカム導入を見据えた AP 設置率 75%以上

修繕費用の確保の目標である経常増減収支差額率は予定していない修繕もあり 3.7%と目標の 10%以上を達成できませんでした。

SDGs に沿った設備改修は、故障している空調含め令和 6 年度に予定していた空調改修はすべて実施できました。

ICT 化推進は令和 7 年度に実施する OS の Windows11 へのアップグレードや 3G 回線の携帯端末対応のため令和 6 年度は見合わせました。

事業計画(3) 課題解決・業務改善への取り組み

ア 福祉 QC 活動の推進 目標：活動内容の達成率 100%以上

令和 6 年度に結成したサークル HIKARE の 1 年目の取り組み「はじまらんぜよ」と題して口腔ケアについて実践、全国大会で発表しました。実践の成果の達成率は 100%でした。

3 その他事業報告

(1) 利用状況 ※新規入所 5 名。退所 4 名。短期利用登録 25 名(実利用者 12 名)

単位：%	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
施設入所	87.5	84.4	84.4	87.8	86.5	86.0	88.1	89.9	89.7	87.9	85.8	85.5	87.0
生活介護	86.5	83.0	83.3	86.5	85.6	85.2	87.4	88.8	88.8	87.3	84.2	83.8	85.9
短期入所	28.3	37.1	30.0	27.4	39.5	48.3	42.7	28.3	24.2	9.7	27.7	25.8	30.8

(2) 日中活動

種 目	目 標	実 施 内 容
室内娯楽	認知能力や感受性の向上	麻雀、映画鑑賞、レクリエーション、ゲーム
運動系	身体機能の維持向上	ボッチャ、視力トレーニング
学習系	知識や感受性の向上	スタディ、習字、俳句、料理教室、英会話、買物
音楽系	発声訓練、感受性の向上	カラオケ、音楽鑑賞
園芸系	生産活動、感受性の向上	園芸、生花
外出	社会参加、気分転換	ドライブ、散歩、魚釣り
美活	清潔保持、意欲の向上	口腔ケア、アロマリラクゼーション
美食	気分転換、意欲の向上	ミニ喫茶、移動パン屋、外部注文昼食、TeaTime

(3) 主な年間行事

月	施設行事・訓練	地 域 交 流
4		天理教比江分教会ボランティア清掃、上倉民協意見交換会
5	防災訓練	きぼうのれん参加
6		北陵東民協意見交換会
7	防災訓練	
8		まほろば祭り屋台協力
9	秋の法要、防災訓練(含む BCP)	
10	秋祭り	熊野神社例大祭、南国市ボランティア DAY 参加
11	防災訓練(含む BCP)、虐待防止研修、感染症対策研修兼訓練	
12	クリスマス忘年会、感染症対策研修兼訓練	久礼田小学校人権の花交流会、北陵中学校プランター贈呈
1	初詣	
2	節分の豆まき	上倉民協意見交換会
3	春の法要、防災訓練、身体拘束等の適正化研修	長岡西民協意見交換会

(4) 外部研修

月	研 修 名
6	第 28 回「福祉 QC」入門講座、スーパーバイズを活用した支援の実践報告会
9	第 2 回食と栄養の会研修、中四国身体障害者施設協議会支援職員研修
10	ノーリフティングケアマネジメント&実技研修、中四国身体障害者施設協議会事務管理研修 第 3 回高知県社会福祉法人経営青年会セミナー、第 51 回国際福祉機器展&フォーラム
11	第 48 回中四国身体障害者施設職員研修大会、第 75 回高知県社会福祉大会
12	第 34 回「福祉 QC」全国発表大会、第 3 回食と栄養の会研修、嚥下のしくみと病態に応じた嚥下障害への対応、給食関係者研修会
1	再加熱システム研修会、施設長実学講座
2	サービス管理責任者等更新研修

相談支援センター アルペジオ 事業報告

1 事業の総括

会是である愛情・奉仕・連帯に基づき、相談支援専門員としての自覚を持ち、利用者様の意思決定及び人格を尊重し、利用者様に寄り添った支援の提供のため、利用者様やご家族との信頼関係構築に努めました。

また、行政、医療機関及び施設等の関連機関と連携をとりながら、相談支援援助サービスを提供しました。

2 事業報告

事業計画(1) 資質向上

ア 社会資源の活用と連携

イ 良質なサービス利用計画の作成

利用者様やご家族から状況を伺い、関係機関と連携をとりながらサービスをコーディネートしました。

強度行動障害支援者研修受講など相談支援専門員としてのスキルを高め、利用計画書を 54 件作成、モニタリングを 231 件作成しました。

事業計画(2) 継続判断

ア 継続判断

令和 6 年度報酬改定により基本報酬増額と加算取得にてサービス利用支援費及び継続サービス利用支援費の単価が増額となりました。結果、サービス活動外増減差額△1,465,564 円と前年度より 357,019 円赤字が減少しましたが解消に至りませんでした。令和 7 年度も大幅な収入の増加は見込めませんが、経費削減に努めたいと思います。

3 その他事業報告

(1) 利用状況

単位：件	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
計画作成	3	5	6	1	7	3	3	2	3	8	6	7	54
モニタリング	13	8	16	27	21	21	21	15	24	14	13	29	222
合計	16	13	22	28	28	24	24	17	27	22	19	36	276

就労継続支援 B 型事業所ウィール社 事業報告

1 事業の総括

「個性を磨き上げ、利用者様と共に成長できる組織づくり」をスローガンとし、利用者満足度向上に向けた取り組みを行いました。スタッフ一人一人が自分の役割を認識し、利用者様が安心して働ける場と日中の居場所の提供を行いました。

2 事業報告

事業計画(1) 自立に向けた支援と環境づくり

ア スタッフの資質の向上を図る

イ 作業環境の充実を図る

ウ 生活部門への関わりを強化

ア スタッフが資質と知識の向上を図るため、法人内外の研修に積極的に参加し、スタッフが研修を受講しました。研修の受講状況は下記のとおりです。

スタッフの研修参加状況

研修・セミナーの名称	開始日時	主催者	参加者
日本福祉施設士会九州・沖縄ブロックセミナー熊本大会（福岡市）	8/8-9	日本福祉施設士会九州ブロック	所長 1 名
第 45 回全国福祉施設士セミナー（和歌山県）	9/12-13	日本福祉施設士会	所長 1 名
R6 年度日本福祉施設士会 第 38 回中四国ブロックセミナー島根大会	10/9-10	日本福祉施設士会中四国ブロック	職業指導員 2 名
R6 年度高知県障害者虐待防止・権利擁護虐待防止マネージャー実践研修	10/11	高知県	サビ管 1 名
R6 年中四国社会就労センター協議会施設長研修会広島大会	11/14-15	中四国社会就労センター協議会	所長 1 名
R6 年度四国エリア就労支援実践研修	11/15	高知県ポリテクカレッジ	職業指導員 1 名
R6 年度第 53 回中四国社会就労センター協議会職員研修（徳島市）	11/21-22	中四国社会就労センター協議会	職業指導員 1 名
R6 年度高知県身体障害者（児）施設協会・高知県社会就労センター協議会合同施設長研修会	11/27	高知県身体障害者（児）施設協会・高知県社会就労センター協議会	所長 1 名
R6 年施設長実学講座 「会計管理・財務管理～基礎から学ぶ施設長のための会計・財務のチェックポイント～」	1-21-22	日本福祉施設士会	所長 1 名
R6 年度高知県身障協（作業部会）高知県セルフ協合同職員研修会	1/24-25	高知県身障協・高知県社会就労センター協議会	全スタッフ 5 名

R6 年高知県経営協セミナー	2/17	高知県経営者協議会	所長 1 名
R6 年度全国社会就労センター長研修会	2/27-28	全国社会就労センター協議会	所長 1 名
R6 年高知県工賃向上セミナー(第 1 回) (第 2 回)	11/22 1/28	高知県	職業指導員 1 名 職業指導員 1 名
法人就労部会	3/14		所長 1 名 サビ管 1 名

イ UV印刷商品販売に向けた作業環境整備や自助具、マニュアルの作成等を行い、利用者様が働きやすい環境を整えました。

ウ 日常生活上の悩みや困りごとにも対応できるよう、個別支援計画モニタリング時等に聞き取りを行い、利用者満足度調査を行いました。

利用者満足度調査実施【年 2 回・回答者 のべ 49 名】

	満足度	意見
施設の満足度	85.7%	・作業にやりがいを感じている。 ・苦手な利用者がいる。 ・特に不満はないが満足度は 75%。
家庭生活の満足度	89.8%	・家族の協力がある。 ・買物が不便。 ・1 人暮らしに不便さを感じる。

事業計画(2) 10 年後を見据えた施設づくり

- ア 施設会計の対前年度比プラス 10%を達成
- イ 就労部門売上 対前年度 105%以上の達成
- ウ ネットショップを開設

ア 経営の安定化を図るため、利用者様の確保を進めました。利用契約者 26 名を目標としておりましたが、3名の契約(11, 12, 3 月)、3名の退所(4, 10, 3 月)となり、年間稼働率 96.3%となりました。

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
令和 6 年度	契約者数	24	23	23	23	23	23	23	23	23	24	24	25	23.4
	開所日数	21	22	21	22	19	20	23	21	21	21	19	21	252
	延べ人数	433	432	406	407	345	367	393	399	407	384	402	457	4832
	1 日平均	20.6	19.6	19.3	18.5	18.2	18.2	17.0	19.0	19.4	18.3	21.1	21.7	19.2
	稼働率%	103.1	98.2	96.7	92.5	90.8	91.8	85.4	95.0	96.9	91.4	105.8	108.8	96.3
令和 5 年度	契約者数	26	26	26	26	26	26	25	24	24	24	24	24	25.1
	延べ人数	466	471	504	472	463	414	410	437	425	445	419	431	5357
	稼働率%	111.0	112.1	114.6	112.4	110.2	98.6	98.2	104.1	106.3	106.0	104.8	102.6	106.3

イ 就労部門売上対前年度比 105%以上の売上を達成し、就労会計の黒字化を目指しましたが、事業所全体では、対前年度比 92.0%でしたが、収益率が向上し、就労会計は黒字となりました。平均工賃も¥27,769 となり、前年度より¥2,747 アップしました。実績は下記のとおりです。

作業名		令和 5 年度	令和 6 年度	予算（目標）	対前年度比
印刷部門		¥19,214,696	¥18,919,819	¥18,600,000	98.5%
うち UVプリンタ		¥1,774,403	¥1,702,854	¥3,000,000	96.0%
精米部門		¥7,019,967	¥5,583,807	¥6,140,000	79.5%
軽作業部門		¥2,069,233	¥2,087,849	¥2,060,000	100.9%
内訳	南国ミロク	¥949,883	¥1,242,868	¥1,080,000	130.8%
	やまくに	¥383,207	¥322,958	¥360,000	84.3%
	ミニパック	¥81,375	¥48,841	¥60,000	60.0%
	大三(丸三産業)	¥178,728	¥85,152	¥180,000	47.6%
	浜幸	¥151,100	¥0	¥90,000	0%
	高生連	¥88,077	¥74,477	¥78,000	84.6%
	その他	¥236,868	¥313,553	¥212,000	132.4%
その他		¥660,000	¥42,020	¥0	6.4%
合計金額		¥28,963,896	¥26,633,495	¥26,800,000	92.0%
平均工賃		¥25,042	¥27,769	¥25,000	110.8%

ウ 高知県アドバイザー事業を活用し、ネットショップを開設しました。UV印刷でのオリジナル商品や絵本作家柴田ケイコ氏のキャラクター商品の販売を始めています。また、多くの方に知っていただくため、インスタグラムの開設やスタッフの名刺にQRコードを印刷し、SNSを活用した周知活動を始めています。

事業計画(3) 課題解決・業務改善への取り組み

ア 福祉QC活動の推進

(ア) 福祉QC活動を推進

(イ) メンバー間でコミュニケーションを取り、それぞれの視点を持って課題解決に努める

ア スタッフで福祉QC活動を実施し、課題解決への取組を行いました。

テーマは、『ご利用者の皆さんの満足度を向上したい』とし、個別の満足度調査を実施し、課題や対策を検討し、3月の法人就労部会にて発表しました。

3 その他事業報告

(1) 年間行事

行事名	開催日	実施内容
法要（秋、春）	9/20、3/19	国分寺住職による法要を開催
外出（春）	8/17	ウィール社にてバーベキュー大会を開催
	8/19	舞台『満月』を県立美術館にて観劇
（秋）	11/1	のいち動物公園散策雨天中止、ヤシィパーク等での買物
忘年会	12/27	年末恒例の忘年会を実施。食事、カラオケ、ビンゴ大会を開催
花見	R7. 4. 2	開花状況、天候不良により 4/2 に R6 年度事業で開催
園芸クラブ	随時	コーポ利用者様と共にプランターへ植栽

(2) 日常生活支援

項目	日時	支援内容
体重血圧測定	毎月 1 回	毎月工賃支給日に実施、通院時等に情報提供。
訪問販売	毎週水曜日	サンプラザ移動販売車両が来所、希望者は自身で嗜好物を購入。
食事委員会	6/25, 12/19	管理栄養士、委託業者と給食について意見交換。

(3) 防災避難訓練実施状況

訓練等	実施日	内容
地震・水害訓練	5/24 【利用者 18 名、スタッフ 6 名参加】 9/4 【利用者 17 名、スタッフ 5 名参加】 11/29 【利用者 17 名、スタッフ 5 名参加】 2/25 【利用者 21 名、スタッフ 5 名参加】	発電機操作、南海トラフ地震を想定し、屋外への避難後コーポ 2 階へ垂直避難 トイレ用凝固剤の使用確認、発災 3 分後に防災頭巾着用、屋外へ避難。その後垂直避難 発電機操作及び、発災想定後、屋外非難。その後水害を想定しコーポ 2 階へ避難 ラインワークスを使用し、安否確認。 屋外避難後、垂直避難実施。
火災訓練	5/29 【利用者 20 名、スタッフ 4 名参加】 3/26 利用者 21 名、スタッフ 4 名参加】	消防への通報訓練、屋外への避難訓練 消防への通報訓練、屋外への避難訓練 消火器訓練実施
夜間通報訓練	11/15 【こくふゾーン】	緊急連絡網を使用した通報訓練

(4) スタッフの配置状況

職種	常勤換算	職員数
所長（管理者）	0.7	1名（兼）
サービス管理責任者	1	1.5名（兼）
生活支援員（相談）	0.5	0.5名（兼）
職業指導員	2.9	3名（兼）
送迎運転手	0.8	2名
計	5.9	9名

(5) 施設への苦情等件数

受付先	件数
苦情等の申し出窓口	0
施設運営委員会	0

就労継続支援 B 型ワークセンターファースト 事業報告

1 事業の総括

れいほく地域で安心安全に自立生活を送ることができるよう支援を実践し、安心して働ける場と日中の居場所としての役割を果たしました。10 年後も安定した施設運営ができるよう利用者様、作業確保を進め、体制整備に努めました。

2 事業報告

事業計画(1) 自立に向けた支援と環境づくり

- ア スタッフの資質の向上を図る
- イ 作業環境の充実を図る
- ウ 生活部門の関わりを強化

ア スタッフが積極的に研修を受講し、資質及び知識の向上を図りました。

スタッフの研修参加状況

研修・セミナーの名称	開始日時	主催者	参加者
サービス管理責任者基礎研修	10/8-9	高知県	生活支援員（相談）1 名
令和 6 年度高知県障害者虐待防止マネージャー実践研修	10/11	高知県	サビ管 1 名
高知県工賃向上セミナー（全 2 回）	11/22 1/28	高知県	職業指導員 1 名
高知県身障協（作業部会）高知県セルフ協合同職員研修会	1/25	高知県身体障害者施設協会 高知県社会就労センター協議会	サビ管 1 名 生活支援員（相談）1 名
食品衛生責任者養成講習会	1/31	高知県中央東食品衛生協会	職業指導員 1 名
高知県医療観察法地域連絡会	2/26	高知県保護観察所	生活支援員（相談）1 名
法人就労部会	3/14		生活支援員（相談）1 名

(7) 福祉 Q C 活動を実施し、3 月の法人就労部会にて発表をしました。

テーマ 終業時の混雑によるリスクの削減

(4) スタッフが役割を担い、施設運営、行事に携わりました。

行事	実施日	実施内容
イベント参加	12/8（こころんフェスタ） 1/23（れいほくデイケア交流会）	高知市中央公園へ利用者様 4 名参加 大川村役場隣接施設：8 名参加

	2/15（嶺北地域在宅医療介護連携推進事業）	本山町プラチナセンターにて映画鑑賞及び講演会：8名参加
清掃活動	10/21（嶺北中央病院駐車場） 11/19（末広ショッピングセンター駐車場） 12/6（クリーンアップ大豊）	たばこ組合様の清掃活動に利用者様延べ8名が参加 大豊学園生徒会と大杉駅の清掃：利用者様3名参加
外出行事	4/17 花見 6/10 春の外出 8/19 舞台『満月』観劇 9/25 秋の外出 11/3	本山町帰全山公園 野市町あじさい街道 高知県立美術館 バーベキュー大会 大豊町町民文化祭
クリスマス忘年会	12/25	地域より3名招待し開催

イ 新規作業マニュアルや自助具の作成を実施し、効率アップを図りました。

ウ 行政や地域相談支援専門員と連携し、日常生活上の支援を実施しました。

- ・生活保護申請や給付費への対応。
- ・衆議院選、町長選の期日前投票に引率。
- ・住宅改装等支援。

事業計画(2) 安定した経営体制の確立

ア 施設会計の対前年度比プラス10%

イ 就労部門売上 対前年度比105%の達成

ウ 地元企業とコラボしオリジナル商品等の製造販売を行う

ア 施設会計の対前年度比+10%を達成するため、利用者様の確保を進め、稼働率98.6%（前年度92.4%）を達成し、収支差額¥4,406,203（対前年度比677.6%）を獲得しました。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和6年度	契約者数	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	12.5
	開所日数	21	22	21	22	19	20	23	21	22	21	19	21	252
	延べ人数	204	219	210	214	182	199	231	204	224	204	187	207	2485
	1日平均	9.7	9.9	10.0	9.7	9.5	9.9	10.0	9.7	10.1	9.7	9.8	9.8	9.8
	稼働率%	97.1	99.6	100	97.3	95.8	99.5	100.4	97.1	101.8	97.1	98.4	98.6	98.6
5年度	契約者数	13	13	13	12	12	12	11	12	12	12	12	12	12.1
	延べ人数	205	204	191	198	193	199	181	186	203	201	183	194	2338
	稼働率%	97.7	97.1	86.8	94.3	91.9	94.8	82.3	88.6	96.7	95.7	91.5	92.4	92.4

イ 年間¥3,018,756（対前年度比 103.4%）の売上を達成し、就労会計の黒字化を目指しましたが、キッズTシャツの売り上げが伸びず、黒字にはなりませんでした。
売上、工賃実績は以下のとおりです。

作業名		令和 5 年度	令和 6 年度	予算（目標）	対前年度比
印刷受注窓口		¥642,785	¥535,536	¥480,000	83.3%
軽作業部門		¥2,195,794	¥2,172,698	¥1,888,000	98.9%
内訳	ミニパック	¥155,225	¥152,388	¥150,000	98.2%
	基石茶組合	¥210,936	¥210,285	¥240,000	99.7%
	南国ミロク	¥78,815	¥486,904	¥5,000	617.8%
	とさちよう物語	¥518,600	¥209,695	¥100,000	40.4%
	こだかさ	¥183,600	¥140,100	¥480,000	76.3%
	末広	¥137,221	¥123,119	¥115,000	89.7%
	道の駅等清掃	¥780,000	¥780,000	¥520,000	100%
	その他	¥131,397	¥70,207	¥70,000	53.4%
その他		¥81,600	¥310,522	¥180,000	380.5%
合計金額		¥2,920,179	¥3,018,756	¥2,548,000	106.5%
平均工賃		¥18,185	¥18,602	¥18,000	102.3%

ウ シルクスクリーン印刷等で地元企業との連携を図りましたが、大きな成果とはなりませんでした。今後、大豊町商工会への加入等を検討し、強化を図っていく予定。

事業計画(3) 課題解決・業務改善への取り組み

ア 福祉QC活動の推進

(ア) 福祉QC活動を推進

(イ) メンバー間でコミュニケーションを取り、それぞれの視点を持って課題解決に努める

ア スタッフが参加し、福祉QC手法を用い、課題解決や業務改善に努めました。
改善以降、ヒヤリハットやトラブルは発生していません。

3 その他事業報告

(1) 防災避難訓練実施状況

訓練等	実施日	内容
火災訓練	12/2、3/21	給湯室等からの出荷を想定し、屋外への避難訓練実施。
地震訓練	3/4、3/31	南海トラフ地震を想定し、発災3分後に防災頭巾を着用し、屋外へ避難。
風水害訓練	3/28	送迎車両まで避難し、待機。

(2) スタッフの配置状況

職種	常勤換算	職員数
所長（管理者）	0.2	1名（兼）
サービス管理責任者	1	1名
生活支援員（相談）	0.5	0.5名（兼）
職業指導員	1.5	1.5名（兼）
送迎運転手	0.3	1名（兼）
計	3.5	5名

(3) 利用者満足度調査実施【回答者 12名】

満足度項目	意見
作業 91.7%	100% 7名、80% 5名 ・検品の判断が難しい。 ・新しい（いつもと違う）作業もしたい。
職員 85.8%	100% 6名、80% 5名、30% 1名 ・苦手な職員がいる。
支援計画 93.3%	100% 8名、80% 4名 ・特になし。
施設 86.6%	100% 7名、80% 3名、50% 2名 ・冬寒い。
その他要望	・レクをしたい。 ・今のままで満足。

福祉ホームコーポラスこくふ 事業報告

1 事業の総括

利用者様一人一人のニーズや思いに寄り添い、地域社会の一員として安心安全に自分らしく生活を送ることができるよう支援、環境の整備等を行いました。利用者様の確保ができず、稼働率 85.0%（前年度 96.7%）、事業活動資金収支差額▲702 千円（前年度＋546 千円）の実績となりました。

2 事業報告

事業計画(1) 利用者様の安全安心を確保し、住みやすい環境の整備を行います。

ア 施設内外の環境整備や突発的な修繕に迅速に対応します。

イ ウィール社と連携し、困りごとや悩みに応じ対応します。

ウ ゆとりある生活を送ることができるよう趣味活動やイベント参加を支援します。

ア 施設内外の環境整備や突発的な修繕に対応しました。

(ア) 定期的に施設周辺の草刈りを行い、10 数年放置されていた古木の撤去も行いました。

(イ) スライドドアや門扉、個人用の洗濯機等の修理、下水管のつまり等突発的な修繕にも対応しました。

イ ウィール社と連携し困りごとや悩み事に対応しました。

(ア) 定期的に懇談会を行い、ＴＶアンテナの修繕や買物先の変更等都度対応しました。

(イ) ヘルパーやリハビリ、入浴などのサービスを受入できるよう支援し、現在３名がサービスを受けています。

ウ ゆとりある生活を送ることができるよう、毎週１回の買物支援（計 52 回実施）と園芸等の趣味活動やボランティアデーへの参加等を行いました。

事業計画(2) 利用者様の確保を進め、経営の安定化に努めます。

ア 利用者様の確保を進め、稼働率 95%以上を確保します。

イ ご家族や各関係機関と連携し、将来に向けた支援を進めます。

ウ ムリ・ムラ・ムダをなくし、経費の削減に努めます。

ア 利用者様の確保を進め、稼働率 95%以上を目標としましたが、入居者の確保ができず、稼働率は 85%でした。

(ア) 近隣市町村や、相談支援事業所にパンフレットの配布や営業活動を行いました、契約には至りませんでした。

(イ) 毎週お薬カレンダーへの配付や通院にも支援を実施しました。

イ 家族様や各関係機関と連携し、速やかに入退所できる準備等を進めました。

・ 3 名の方の入退院の支援や退院後の対応（退所、ヘルパー利用等）を行いました。

ウ ムリ・ムラ・ムダをなくし、経費の削減に努めました。

・ 光熱水費高騰のため、電気料金の削減に努めましたが、大きな成果は得られませんでした。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
入居者	9 名						8 名						8.5 名
稼働率	90%						80%						85%
前年度	100%								90%				96.7%
備考	9 / 末 〇 様高齢者施設へ転院のため退所。												

3 その他事業報告

(1) ウィール社と連携し防災訓練を実施しました。

訓練等	実施日	内容
地震・水害避難訓練	5/23 【利用者 6 名、職員 3 名参加】 9/4 【利用者 7 名、職員 3 名参加】 11/29 【利用者 5 名、職員 3 名参加】 2/5 【利用者 6 名、職員 3 名参加】	南海トラフ地震を想定し、発災 3 分後にヘルメット着用し、ロビーや屋外へ避難、集合。その後、左右山川の氾濫を想定し、コーポ 2 階へ垂直非難実施。
火災避難訓練	5/29 【利用者 5 名、職員 3 名参加】 3/21 【利用者 4 名、職員 2 名参加】	消防署への通報訓練及び屋外への避難訓練、終了後、消火器使用訓練実施。
火災通報訓練	11/15	緊急連絡網にて夜間通報訓練実施。
火災報知器点検	11/28	消防機器点検。特に異常なし。

障害者支援施設ステージ桜が丘 事業報告

1 事業の総括

2024 年度は、12 月から 1 月末まで新型コロナウイルス及びインフルエンザ A 型が発生し、嘱託医と連携を持ち早期終息に向けて取り組んだが、連続的な発生のため約 2 か月間の外部利用者受入れを制限した。

また、頻回な医療処置や在宅復帰による退所、急性疾患による入院など月平均 2 名以上の入院者が発生等、複数の要因が重なり年間の平均稼働率は伸び悩む結果となった。

新規利用者獲得に関する取り組みでは、計画的な営業活動が実施できなかったことも要因の一つと考えられることから、営業活動及び関係機関との連携の重要性を痛感することとなった。

2024 年度より開始した外国人材の活用は 1 月から実施しており、日常業務だけでなく日本の生活習慣や日本語学習などに対する支援を実践している。現在もホームシックになることなく勤務しており、新規取り組みである外国人材の受入れは順調な取り組みができていると感じる。

2 事業報告

事業計画(1) サービスの向上

会是に基づく支援の提供を目標とし、接遇教育の実施と各部署の役割と支援内容の明確化を行い、利用者は「お客様」の気持ちをもってサービス提供を行います。また、日中活動の充実や障害特性の学習を行い、ご利用者満足に繁栄できるよう努めます。

- ア 接遇教育の実施
- イ 部署活動の充実
- ウ 日中活動の充実
- エ 障害特性についての学習

接遇教育の一環として、虐待防止委員会が作成した目標やスローガンを朝礼時に復唱し、会是に基づく支援の浸透、支援姿勢や接遇の意識付けに取り組んだ。人事考課と育成に関しては、個別面談や指導を行い、職員個々の支援力向上に努めた。

また、支援力の向上を目標に、外部コンサルタントを活用した勉強会を実施し、知的障害に関する基礎的な知識の取得に向けて取り組みを行った。今後は、より実践的な勉強会となるよう、支援の中心メンバーを対象として引き続き計画していく。

事業計画(2) 経営の安定

稼働率 96%を目標として、利用者確保及びスタッフの確保に努めます。ステージ桜が丘の活動や方針を対外的に広く知っていただけるよう、広報誌の充実を図ります。

また、外国人材の受入れ及び活用を行い、安定した人材確保を目指します。

- ア 稼働率向上
- イ 外国人材の受入れ

広報紙の発行について、高知県の実施指導や感染症クラスターの発生があり、令和 6 年度は 2 回の発行にとどまった。令和 5 年度より実施していた行政及び福祉事務所等への営業活動と施設の空床状況など情報発信を行った結果、9 月には満床になったが、毎月約 2 名の入院者発生、12 月から 3 月にかけて複数名の長期入院者が発生、在宅復帰や医療ニーズが高くなり他施設への転院が必要なケースもあり、稼働率は伸びなかった。

年間平均稼働率は、施設入所稼働率 94.7%、生活介護稼働率 96.2%、短期入所 46.7%で 2024 年度を終了となり、入所及び短期入所の目標稼働率達成はできなかった。

外国人材の受入れは、令和7年1月7日に入国し、1週間のオリエンテーションと入職式を実施し、生活支援及び業務に関する説明等を行った。

また、日々の支援として1か月間は毎日業務終了後に、分からないことや困っていることなど相談体制を確保、2か月目以降は週単位の相談体制を維持、3か月目より業務中のことは指導者にその都度質問を行った。生活面に関する相談は定期的に声掛けを行い必要に応じて支援を行った。日本語支援に関しては、週1～2回のオンライン形式による学習支援と月1回の対面方式による集合学習を実施した。

事業計画(3) 課題解決・業務改善への取り組み

ア 福祉QC活動の推進

(ア) 福祉QC活動の実践をととして、施設の課題解決・業務改善に取り組む。

前年度のメンバーである生活支援員を中心に、年度当初より課題の抽出を実施し、テーマを「ヒヤリハット報告を活用させよう」に選定を行い積極的に取り組んだ。12月2日の全国QC発表大会に初めて参加し事例発表を行った。

3 その他事業報告

(1) 月別稼働率の状況

ア 稼働率（単位：％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
施設入所	94.7	95.8	93.1	94.4	95.2	94.9	97.5	98.1	95.5	92.0	93.0	91.2	94.6
生活介護	96.8	97.2	95.7	95.7	95.7	96.8	97.6	99.5	97.0	93.9	95.3	93.0	96.2
内 入所	95.1	95.6	93.4	93.7	94.2	95.2	96.1	97.6	96.5	93.0	93.2	91.0	94.6
訳 通所	1.7	1.6	2.3	2.0	1.5	1.6	1.5	1.9	0.5	0.9	2.1	2.0	1.6
短期入所	46.7	66.1	63.3	59.7	64.5	36.7	38.7	33.3	21.0	38.7	42.9	48.4	46.7

(2) 年間行事等

ア 施設の行事

(ア) 日中活動

種目	目標	実施内容
室内 娯楽	・認知能力や感受性の向上 ・協調性を養う ・心身のリラックス	・オセロ・かるた・トランプ ・映画鑑賞・カラオケ・楽器演奏
運動	・心身のリラックス ・身体の動き ・筋力、機能維持	・ボーリング・風船バレー ・ボッチャ・周回歩行
学習	・集団（社会）適応能力を高める ・手指の細かい動作能力を高める ・認知能力を高める ・協調性を養う ・思考性を養う ・感受性を向上させる	・ぬり絵・計算ドリル ・パズル・クイズ ・生花・飾り物制作
作業	・手・指の操作性 ・身体の動き	・園芸（野菜、果物、花の栽培） ・作物、畑の手入れ、収穫

	・観賞、食する喜び	・調理
外出	・気分転換 ・社会参加	・買物・ドライブ ・花見

(イ) 年間行事

行 事 名	実施月	備考
花見外出	4 月	外出先：安芸広域公園（内原野）
外注（チキンカレー、スープカレーの選択メニュー）	7 月	利用者のリクエストに対応。 委託業者と連携して実施。
安芸市納涼花火大会観覧	8 月	施設屋上・1 階テラス・駐車場から観覧。
桜が丘・南風文化祭	9 月	南風と合同開催。 利用者様の作品展示、理事長・スタッフの余興、 安芸市在住のバンドによる演奏。
外注（ケーキ）	9 月	利用者のリクエストに対応。 安芸市内の菓子店メニューで選択。
焼き芋	11 月	南風と合同開催
クリスマス会	12 月	会食・出し物・くじ引きを実施。
外注（チャーシュー麺 餃子、チャーハンセット）	1 月	利用者のリクエストに対応。 委託業者と連携して実施。
節分豆まき	2 月	鬼 2 体の出現と豆まきで邪気払いを実施。

(ウ) 生活利便のサービス

	内 容	対象
預金引出	希望者様の通帳処理を行う。	入所
移動スーパー	毎週金曜日の午前中に移動スーパーが来所、利用者様が事前注文した生活物品を購入する。	入所
散髪	geek 美容院（第 3 火）・中平理容店（第 2・4 木）に来所し、希望者の散髪を行う。	入所・短期・生活

イ 地域住民等との交流

交流名	実施月	備考
よさこい踊り（演舞）	8/3	安芸市市役所よさこいチームの訪問、演舞の披露があった。
第 1 回桜が丘・南風文化祭	9/6	地域や関係機関に案内（チラシ）し、「第 1 回桜が丘・南風文化祭」を実施した。
ハロウィン	10/19	商店街のハロウィンイベントへ参加し、子ども達へ綿菓子を配布した。
秋神祭	11/9	西八幡宮の秋神祭に参加、自施設や商店街など神輿の巡行を行った。
福祉ふれあいバザー	11/17	福祉ふれあいバザーへ参加し、出店（焼きそば・食器等）を出店した。

スマイル交流会	12/7	安芸市の障害者関連事業所（16 事業所）が集まりスポーツ等交流イベント開催。 事業所ブースの開設、同時開催した「スピリッツアートinあき」へ施設利用者の作品を展示披露した。
西浜市民会館意見交換会	定期開催	地域住民や関係団体等との行事案内や意見交換を実施し、協力体制の構築に努めた。

(3) 防災訓練及び避難訓練等の実施状況

	時 期	合 計
火災	6/12 ・ 7/19 ・ 11/5 ・ 1/15	4
地震	6/12 ・ 9/18 ・ 3/5	3
風水害	2/12	1

(4) 施設への苦情等件数

受 付 先	計
意見箱への投函	4
施設運営委員会(月例会)	1

(5) スタッフの配置状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

職種	常勤 換算	常勤 (人)	非常勤 (人)	職種	常勤 換算	常勤 (人)	非常勤 (人)
施設長（管理者）	1	1	0	理学療法士	1	1	0
サービス管理責任者	1.5	2	0	管理栄養士	1	1	0
医師（嘱託医）	0.1	0	1	事務員	1	1	0
看護職員	3	3	0	用務員・技師	3	1	3
生活支援員(介護)	29.2	24	8	夜間警備員	1	0	3
生活支援員(相談)	0.5	1	0	合計	42.3	35	15

(6) スタッフの外部研修への参加状況

研修・セミナーの名称	開催時期	主催	参加者
安全運転管理者研修	5 月	安全運転管理者協議会	事務員
発達障害に関するセミナー	6 月	高知県立療育福祉センター	施設長
福祉 QC 入門講座	6 月	全国社会福祉協議会	生活支援員
中・四国身体障害者施設協議会 支援職員研修会	8 月	中・四国身体障害者施設 協議会	施設長 生活支援員
高齢期の発達障害支援のあり方	9 月	高知県立療育福祉センター	施設長

感染症対策担当職員研修会	9 月	安芸福祉保健所	看護師 生活支援員
高知県強度行動障害支援者養成研修	9 月	高知県	生活支援員
外国人介護人材受入れセミナー	9 月	高知県社会福祉協議会	事務員
全国福祉施設士セミナー	9 月	日本福祉施設士会	施設長
高知県障害者虐待防止・権利擁護研修	10 月	高知県社会福祉協議会	生活支援員
中・四国身体障害者施設協議会 事務管理研修	10 月	中・四国身体障害者施設 協議会	施設長 サービス管理 責任者
認知症対応型サービス事業開設者 研修	10 月	福祉研修センター	施設長
技能実習指導員講習	10 月	(株)PMC	生活支援員
技能実習責任者講習	10 月	(株)PMC	施設長
生活指導員講習	10 月	(株)PMC	事務員
高知県障害者虐待防止・権利擁護研修	10 月	高知県社会福祉協議会	サービス管理 責任者
高知県身体障害者施設協会施設長 セミナー高知県社会就労センター 協議会合同管理者研修会	11 月	高知県身体障害者施設協会 高知県社会就労センター協議 会	生活支援員
中堅職員ステップアップ研修	11 月	高知県福祉人材センター	生活支援員
中・四国身体障害者施設職員研修大会	11 月	中・四国身体障害者施設協議会 山口県身体障害者施設協議会	施設長
チームリーダー研修	11 月	福祉研修センター	生活支援員
介護福祉士実習指導者講習会	11・12 月	公益社団法人日本介護福祉士会	生活支援員
「福祉 QC」全国発表大会	12 月	日本福祉施設士会	生活支援員
施設長実学講座	1 月	日本福祉施設士会	施設長
安芸福祉保健所管内福祉避難所担 当者研修会	1 月	安芸福祉保健所	サービス管理 責任者
高知県身体障害者施設協会 高知 県社会就労センター協議会合同職 員研修会	1 月	高知県身体障害者施設協会 高知県社会就労センター協議 会	施設長
メンバーシップリーダー研修	2 月	福祉研修センター	生活支援員
高知県相談支援従事者等専門コー ス別研修	2 月	高知県	サービス管理 責任者
高知県サービス管理責任者及び児 童発達支援管理責任者更新研修	2 月	高知県	サービス管理 責任者
中・四国身体障害者施設協議会 総会及び施設長会研修	2 月	中・四国身体障害者施設 協議会	施設長

特別養護老人ホーム八流荘 事業報告

1 事業の総括

前年度の深刻な介護スタッフ不足は、中途採用や外国人労働者の採用により基準としている人員まで回復することができました。また、まだまだ安心することのできないコロナウィルスを含む感染症に大きく影響を受けることなく施設運営を行うことができました。経営面では介護報酬のプラス改定や新たな加算取得により、収入は前年度からわずかですが増収となりましたが、人件費、介護用品費、修繕費、事務所移転費用等大きな支出が重なり厳しい状況となりました。

2 事業報告

事業計画(1) 安心・安全な生活

ア 介護の品質向上

ア 利用者様への安心・安全な生活の提供のため、高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会の活動を行いました。委員会では高齢者虐待や身体拘束について定義などを確認・共有し、他法人の実際の事例などを用いながら理解を深めました。加えて理解度向上テスト（初級）を実施し、スタッフに受験をしてもらい理解度、意識向上に努めました。

接遇アンケートではスタッフの自己評価と部署代表8名の客観評価を実施し、客観評価40点以上（50点満点）を目標にしておりました。年度当初の一回目は36.6点でしたがその後アンケートの度に得点が下がり、最終的には28.0点となりました。結果が出るたびに調整会や朝礼などで結果報告と接遇の重要性を伝えてきましたが状況を改善することができませんでした。ただ、得点が極端に下がっているとはいえ、施設の接遇レベルが比例して大きく低下している状況は確認できておりません。しかし、一部でも厳しい意見が結果として表れているため、令和7年度も引き続き接遇改善による利用者様の安心・安全な生活の実現に向けて活動致します。

事業計画(2) 経営改善

ア 紙おむつに係る経費の削減

イ 新たな加算取得による収入増

ア 令和5年度に引き続き紙おむつに係る経費の削減に取り組みました。外部アドバイザーの協力のもと、利用者様個々の排せつパターンを把握し、尿量や間隔に応じた紙おむつを適切により、経費削減とケアの質の向上を目指しました。目的や手法は介護部門と共有し実施してまいりましたが、管理が徹底しておらずいろいろな課題が解決しないまま進んでしまい、反対に経費が増えるという結果になりました。課題の一部として「尿取りパッドの吸収量が尿測の結果を大幅に超えるものを使用」「テープ止め紙おむつを利用者様の体格等を考慮しないオーバーサイズで使用」があり、単価の高い商品が無駄に使用していた状況がありました。下半期はアドバイザーに頻回に実地研修や指導を頂き、改題解決に努めましたが、計画目標に掲げていた数値を達成することはできず、反対に増額となってしまいました。ただ、今回の取り組みが徐々に介護部門に浸透していることは事実であるため、引き続き次年度も取り組みを継続し、経費削減に向けて活動いたします。

(排せつ用品費用額)

R5 年度 7,556,612 円 (7,800 円/人)

R6 年度 8,227,473 円 (8,570 円/人)

イ 本年度は「安全対策体制加算」「看取り介護加算(Ⅱ)」「生産性向上推進体制加算(Ⅱ)」を新たな加算として算定することができました。それぞれの加算額は決して大きくないものとなりますが、加算を取得する意識向上や体制づくりにもつながり、令和7年度も新たな加算取得に向けて活動いたします。

(年間加算取得額)

安全対策体制加算 4,200 円

看取り介護加算(Ⅱ) 251,680 円

生産性向上推進体制加算(Ⅱ) 29,500 円

合計 285,380 円

事業計画(3) 課題解決・業務完全への取組み

ア 福祉QC活動の推進

各専門職種代表 10 名で QC サークルを結成し、利用者様の「日常生活上の楽しみや活動の機会が少ない」ことを課題に挙げて解決に向けて活動をしました。現在使用していない旧デイサービスホールとスタッフ休憩室の一角にある喫茶コーナーを日常生活の場から離れた「外出先」と設定し、当たり前の生活の再現をしました。リハビリやリラクゼーション、家庭菜園などで身体を動かし、その後は喫茶コーナーへ移動し飲み物やお茶菓子でゆっくりと談笑するという流れで活動を継続しました。12 月の福祉 QC 全国発表大会で「幸福な老いを目指して」というタイトルで発表し、テーマ選定が評価され「いいねいいね賞」を頂くことができました。

3 その他事業報告

(1) 稼働率の状況 (%)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
入所	93.9	93.0	93.0	92.2	94.9	95.0	91.7	97.2	95.8	92.5	90.6	90.4	93.3
短期	72.3	78.7	85.7	76.8	69.0	49.7	67.4	74.7	73.9	63.5	69.3	70.3	71.0

(2) 年間行事等

行 事 名	実施月	備考
誕生会	4 月	8 名の利用者様の誕生祝いをする。
おやつ作り	4 月	季節の和菓子を楽しむ。
誕生会	5 月	3 名の利用者様の誕生祝いをする。
おやつ作り	5 月	プリン・杏仁豆腐・ゼリーにトッピングをして楽しむ。
誕生会	6 月	1 名の利用者様の誕生祝いをする。
おやつ作り	6 月	今川焼を楽しむ。
誕生会	7 月	4 名の利用者様の誕生祝いをする。

おやつ作り	7月	季節の果物スイカを楽しむ。
誕生会	8月	5名の利用者様の誕生祝いをする。
おやつ作り	8月	水菓子を楽しむ。
誕生会	9月	4名の利用者様の誕生祝いをする。
夏祭り	9月	屋台やゲームなどを楽しむ。
長寿を祝う会	9月	利用者様の長寿と健康を祝い、祝い膳を楽しむ。
誕生会	9月	5名の利用者様の誕生祝いをする。
誕生会	10月	6名の利用者様の誕生祝いをする。
おやつ作り	10月	ぜんざい・おしるこを楽しむ。
誕生会	11月	5名の利用者様の誕生祝いをする。
誕生会	12月	4名の利用者様の誕生祝いをする。
年忘れ会	12月	一年の締めくくりをゲームや食事で楽しむ。
新年会	1月	新しい年を祝い、祝い膳を楽しむ。
おやつ作り	1月	たこ焼きを楽しむ。
節分	2月	ホールにて豆まきを楽しむ。
地域交流	1月	赤野小学校の生徒さん9名の訪問があり交流を楽しむ。
誕生会	1月	12名の利用者様の誕生祝いをする。
誕生会	2月	9名の利用者様の誕生祝いをする。
おやつ作り	2月	焼き芋を楽しむ。
百寿お祝い	2月	百歳を迎えられた利用者様を安芸市長、ご家族と祝う。
おやつ作り	3月	今川焼を楽しむ。
誕生会	3月	13名の利用者様の誕生祝いをする。

(3) 防災訓練等

種別	時期	合計
避難誘導	6月 11月 2月	3回
消火	6月 11月 2月	3回
通報	12月	1回
地震	6月 11月 2月	3回
夜間避難	6月 11月 2月	3回

(4) 外部研修の参加状況

研修・セミナーの名称	開催時期	主催	参加者
高知県老人福祉施設協議会研修会	4月	高知県老人福祉施設協議会	施設長 業務課長
第28回「福祉QC」入門講座	6月	日本福祉施設士会	介護主任 生活相談員
生活相談員・介護支援専門員合同勉強会	7月	高知県老人福祉施設協議会	介護支援専門員 生活相談員
第71回四国老人福祉施設関係者研究大会	8月	四国老人福祉施設協議会	施設長 生活相談員 管理栄養士
姿勢援助基本技術	9月	ナチュラルハートフルケアネットワーク	介護スタッフ
第45回全国福祉施設士セミナー	9月	日本福祉施設士会	施設長

中間管理職研修	10 月	高知県老人福祉施設協議会	介護主任
働き方・休み方改善・ワークショップ 2024	10 月	高知労働局	施設長
技能実習責任者講習	10 月	株式会社 PMC	施設長
技能実習生活指導員講習	10 月	株式会社 PMC	介護スタッフ
高知家ノーリフティングマイスター養成研修	10 月	ナチュラルハートフルケアネットワーク	介護スタッフ 理学療法士
福祉職場の中堅職員ステップアップ研修	11 月	福祉研修センター	介護スタッフ
伯方塩業株式会社三島工場見学研修会	11 月	職と栄養の会	管理栄養士
栄養士勉強会	12 月	高知県老人福祉施設協議会	管理栄養士
姿勢援助指導者養成研修	12 月	ナチュラルハートフルケアネットワーク	介護スタッフ 理学療法士
姿勢援助マネジメント、アセスメント研修	1 月	ナチュラルハートフルケアネットワーク	介護スタッフ
令和6年度第1回施設長実学講座「会計管理・財務管理」	1 月	日本福祉施設士会	施設長
令和6年度第2回・第3回施設長実学講座「演劇手法による苦情対応の実践」「ハラスメントの現状と対応」	1 月	日本福祉施設士会	施設長
データから読み解く特養の未来～団塊世代が変えるもの～	1 月	ポスト・ヒューマン・ジャパン株式会社	施設長

ホームヘルプステーションやながれ 事業報告

1 事業の総括

事業継続のための人材確保の計画を立案していましたが、新たな人材を採用することができず年度末をもって事業休止となりました。令和6年度は人員配置基準をなんとか満たしていただいたため、可能な限り運営をしていく検討もしてきました。しかし、人材確保について全く明るい見通しがないことや予期せぬ人員欠による突然の事業休止は利用者様をはじめ、家族様や関係機関に多大なる迷惑をかけることになるため、計画的に事業を休止するという選択に至りました。

2 事業報告

事業計画(1) 採用活動

- ア 職業安定所等への求人
- イ 職業安定所や福祉人材バンクとの情報共有
- ウ 現スタッフのネットワークの活用

職業安定所へのパート訪問介護員の求人、地域への求人チラシ（入所施設と併用）の配布や就職面談会への参加等、求人活動を継続して行ってきましたが反応は全くありませんでした。

事業計画(2) ゾーン内での人材確保に関する検討

- ア ゾーン施設長会で人事等について検討
- イ (1)の採用活動以外の手法の検討

定例の施設長会でも議題に挙げて人事等も検討しましたが、ゾーン内のその他の事業所に関しても人材は不足（人員配置上の基準は遵守）している状況のため、人事の実践はできませんでした。

事業計画(3) 他法人事業所の動向把握

- ア 人材の流動についての状況収集
- イ 流動人材へのアプローチ

具体的な人材の流動について情報をキャッチすることができず実践に結びつきませんでした。

小規模多機能型居宅介護事業所 南風 事業報告

1 事業の総括

令和6年度は、感染症対策に取り組みながらステージ桜が丘との文化祭等交流や地域のイベント等に利用者様と参加する事で地域貢献ができたこと、また、市民館の意見交換会では地域課題の把握に努めることで事業所のPR活動ができました。

スタッフのスキルアップとしては、基本的な理念をはじめ、対人援助サービス、認知症特性の理解等の勉強会、権利擁護研修等更なる知識を得る機会ができたと思われます。令和7年度も引き続き地域貢献と、状況に応じて職員の資質向上に向けての取り組みに努めていきます。

2 事業報告

事業計画(1) 地域へ事業所の役割等周知してもらう活動

- ア 地域行事に参加
- イ 介護保険外サービス等の活用
- ウ 市民館での会議に出席

地域の子供食堂、ハロウィンイベント、西八幡宮の神祭、福祉ふれあいバザー、地域のひな祭りパレード等に利用者様と参加することで地域貢献ができ、また同時に事業所のPR活動ができました。

介護保険外サービス活用については、必要に応じて利用者様の散髪や買物支援の送迎対応等を臨機応変に提供する事ができました。

市民館の意見交換会に出席する事で、地域課題の把握に努めることができ、南風事業所が相談窓口として機能できる旨の話ができました。

事業計画(2) スタッフの接遇や対人支援等の勉強会を実施

- ア 理念を基本としたサービス提供の勉強会実施
- イ 対人支援サービス等の勉強会実施
- ウ 知的や躁鬱、認知症特性の理解に努める勉強会実施
- エ 現場環境や業務改善の推進
- オ 人権について研修会を実施、南風の意見評価を問う家族会の開催（年2回）
- カ 不適切ケアアンケートの実施

理念を基本としたサービス提供をはじめ、認知症特性の理解・知的や躁鬱、非言語コミュニケーション技術、対人援助サービス等勉強会を実施し職員の資質向上に努めることができたと思われます。

現場のより良い環境に向けて、業務改善の提案を勧めたりするも手段手法が分からないためか一部のスタッフのみの提案となり今後の課題となっています。

人権擁護については、年度で2回家族会の際に安芸人権擁護委員協議会のスタッフによる研修にて理解を深める機会ができました。

不適切ケアアンケートについて、法人で使用していた様式を基に南風版に修正し実施。アンケート結果に伴い、対策を検討しより良いケアに近づけることが課題となっています。

障害者支援施設とさ 事業報告

1 事業の総括

関係法令を遵守し、法人の会是を基本理念として、利用者様の人権の尊重と自己決定・自己選択及び自立に向けた支援に努め、利用者様が安心・安全な生活ができる支援を行いました。また、「利用者様を大事にする想い」をスローガンとし、虐待防止委員が中心となり、不適切支援をなくす取り組みを継続しました。

2 事業報告

事業計画(1) サービスの質の向上

- ア 虐待防止委員会活動の活性化
- イ ICT化の推進
- ウ 支援力向上

ア 虐待防止委員会計画に沿って取り組みを行い、虐待防止委員が中心となり利用者様を大事にする支援は、利用者様の人権を尊重することであり、その事をとさの風土としてスタッフに浸透させ、気になる支援については安心して言い合える環境を目指し虐待防止活動に努めました。

イ ナースコールについては、施設開設時から継続使用し28年が経過しており、PHS連動機器への入替を行うために社会福祉法人清水基金へ補助金申請を行い、補助金交付決定となりました。令和7年度より入替工事を開始します。

ウ 各部署にて事例発表を行い、優良賞は投票にてPTによる事例発表に決定しました。

事業計画(2) 経営の安定化

- ア 稼働率施設入所 97%

営業活動計画書を作成し、毎月営業活動に市町村や病院などを訪問しました。入所利用者様52名の契約までには至りませんでした。年間平均入所稼働率は97.2%となり、目標稼働率は達成しました。新規通所利用者様は4名、新規ショートステイ利用者様は3名獲得することができました。

事業計画(3) 課題解決・業務改善への取り組み

- ア 福祉QC活動の推進

生活支援員を中心として、QCサークルを結成し「オムツ交換の見直し」をテーマに取り組みました。福祉QCストーリーに基づき実践をし、12月2日「福祉QC全国発表大会」にて「快適な生活環境を求めて」の題名で発表を行い、奨励賞をいただきました。

3 その他事業報告

(1) 月別稼働率の状況

ア 稼働率(単位: %)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
施設入所	97.9	95.7	97.3	95.3	94.1	96.6	96.6	99.4	99.3	98.1	98.1	98.3	97.2
生活介護	90.7	90.7	92.0	90.6	87.6	90.6	89.9	92.6	92.9	91.7	93.8	92.1	91.2
内 入所	93.0	93.7	92.5	90.7	89.7	92.2	91.8	94.7	94.6	94.1	89.9	94.5	92.6
通所	79.1	76.1	89.1	90.0	77.4	82.7	80.0	81.8	84.3	80.0	91.0	80.0	82.5
短期入所	94.2	56.5	86.7	84.7	83.9	83.3	59.7	70.8	54.8	66.9	69.6	50.6	71.7

(2) 年間行事等

ア 施設の行事

(ア) 日中活動

種目	目標	実施内容
室内 娯楽	・認知能力や感受性の向上 ・協調性を養う ・心身のリラックス	・オセロ・卓球バレー・風船バレー ・かるた・トランプ・ボッチャ・玉入れ ・DVD鑑賞・もぐらたたき・輪投げ ・ボーリング・ラダーボール・新聞作り
作業 療法	・手指の細かい動作能力を高める ・心身の耐久性を高める ・協調性、思考性、感受性を養う ・意思・意欲の向上 ・認知能力を高める ・自立生活能力を高める	・調理話し合い・新聞作り ・調理(フルーチェ) ・作品作り(あじさい、こいのぼり、七夕飾り)・個人創作 ・七夕飾り付け・クリスマス飾り ・正月飾り・ひな飾り・五月人形 ・スピリットアート出展(花火)
学習系	・集団(社会)適応能力を高める ・手指の細かい動作能力を高める ・認知能力を高める ・協調性を養う ・思考性を養う ・感受性を向上させる	・視力トレーニング・暑中見舞い・豆まき ・書道・ぬり絵・違う絵探し ・新聞作り・折り紙・間違い探し ・なぞり書き・文字練習・福笑い ・個別学習・声の広報・地域学習 ・書初め・鏡餅作りパフォーマンス
音楽 療法系	・スキンシップやリラックス ・仲間作りや雰囲気づくり ・発声訓練や身体の体操	・リズム音楽・カラオケ・音楽鑑賞 ・新聞作り
園芸 療法系	・手・指の操作性 ・身体の動き ・観賞、食する喜び	・作物(大根、春菊)・収穫物の調理 ・栽培(ひまわり、なでしこノースポール) ・作物や畑の手入れ・新聞作り
外出	・気分転換・社会参加	・ドライブ・花見・演劇鑑賞
生産 活動	・社会参加・意思や意欲の向上 ・協調性や自活能力を高める	・手作りパン販売・新聞作り
機関紙	・思考力を養う	・打ち合わせ、紙面づくり、送付準備
美活	・清潔保持・心身のリラックス ・意思・意欲の向上・気分転換	・スキンケア・ハンドケア・ネイルケア ・オーラルケア・新聞作り
美食	・気分転換、意思や意欲の向上	・話し合い・会食 ・スイーツ等取り寄せ(モンブラン、スイートポテト)

(イ) 年間行事

行 事 名	実 施 日	実施場所(※備考)
ふれあい交流会	6/29	とさホール(入所のみ)
44周年記念舞台公演	8/19	高知県立美術館
彼岸の法要	9/20・3/18	とさ楓の間
秋風祭	10/19	とさ中庭(入所のみ)

クリスマス忘年会	12/25	とさホール
安全祈願祭	1/8	とさ楓の間(スタッフのみ)
節分豆まき	2/3	とさホール・通所ホール
お楽しみ会	3/12	とさホール
卒業生へ花苗贈呈	3/18	波介小学校・高石小学校
卒業式参加	3/21	波介小学校

(ウ) 生活利便のサービス

	内 容	対 象
預金引出	火曜日に行員が来所、希望者様の通帳処理を行いました。	入所
散髪	ローズ美容室（第1木、第2.3.4金）来所し、散髪を行いました。 WARABI 美容室（第2火）来所し、散髪を行いました。	入所・通所 入所
買物	水曜日に希望日用品を代行して購入しました。	入所
パンの販売	月2回程度、業者が来所してパンを販売しました。	入所・通所
移動スーパー	水曜日に移動スーパーが来所、利用者様が選択して生活物品を購入されました。	入所・通所

イ 地域住民等との交流

波介下東地区のモーニングサロンが毎月第2水曜日に実施されており、毎月施設長やスタッフが参加し、地域住民との交流を図ることができました。4月に実施した防災・学習訓練では、施設より非常食の提供を行い、災害食レシピに沿ってご飯と卵焼きを作りました。交流イベント開催時にはパイプ椅子等物品の貸し出しを行い、積極的に地域交流を図りました。8/17に青龍よさこい鳴子踊り隊（土佐市）が来訪され、中庭にて踊りを演舞していただきました。波介小学校と高石小学校の卒業生15名に花苗贈呈を行い、波介小学校の卒業式に参加しました。

(3) 防災訓練及び避難訓練等の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
避難誘導			6/26					11/13		1/29			3回
消火			6/26					11/13					2回
通報	4/1		6/26		8/1		10/3	11/13	12/2		2/3	3/13	8回
地震	4/1		6/26		8/21	9/2・18	10/3	11/13	12/2	1/29	2/3		10回
図上			6/26		8/21			11/13					3回
夜間避難			6/26					11/13				3/13	3回
水害対応						9/18		11/13					2回

(4) 施設への苦情等件数

受 付 先	施設内の問題	その他の問題	計
とさの苦情等の申出窓口	0	0	0
とさ地区施設運営委員会	1	0	1

(5) スタッフの配置状況（令和7年3月31日現在）

職種	常勤 換算	常勤 (人)	非常勤 (人)	職種	常勤 換算	常勤 (人)	非常勤 (人)
施設長（管理者）	0.6	1	0	理学療法士	1	1	0
サービス管理責任者	1.5	2	0	管理栄養士	1	1	0
医師（嘱託医）	0.02	0	1	事務員	2	2	0
看護職員	4	4	0	用務員	0.2	0	1
生活支援員（介護）	33.7	30	7	夜間警備員	1	1	0
生活支援員（相談）	1.5	2	0	合計	46.52	44	9

(6) スタッフの外部研修への参加状況

研修・セミナーの名称	開催時期	主催	参加者
中・四国身体障害者施設協議会 施設長研修会	5月・2月	中・四国身体障害者施設 協議会	施設長
施設長実学講座	8月・1月	福祉施設士会	施設長
中堅職員研修	7月(2日)	福祉研修センター	生活支援員
須崎地区安全衛生大会	7月・9月	須崎労働基準協会	生活支援員
DWAT ブロック別研修	8月	高知県	生活相談員
虐待防止・権利擁護中堅研修	8月	高知県	生活支援員
虐待防止・権利擁護管理者研修	8月	高知県	生活支援主任
中・四国身体障害者施設協議会 支援職員研修会	8月(2日)	中・四国身体障害者施設 協議会	施設長 生活支援主任
安全運転管理者講習	8月	安全運転管理者協議会	事務主任
食と栄養の会研修会	9月	高知県食と栄養の会	栄養士
防災士研修	9月～11月 (3回)	高知県	生活相談員
強度行動障害支援者養成研修 基礎研修	10月(2日)	高知県	生活支援員
スキルアップ研修	10月	高知県災害派遣福祉チ ーム	生活相談員
TRUE カラーズ入門講座	10月	土佐市ネットワーク協 議会	生活相談員 栄養士
初任者研修	10月(2日)	福祉研修センター	生活支援員
先輩職員研修	10月	福祉研修センター	生活支援員

中・四国身体障害者施設職員研修大会	11 月	中・四国身体障害者施設協議会	生活相談員
福祉 QC 全国発表大会	12 月	福祉施設士会	施設長 生活支援主任
給食施設関係者研修会	12 月	中央福祉保健所	栄養士
介護新任職員フォローアップ研修	12 月	福祉研修センター	生活支援員
生活部会	12 月	高知県身体障害者施設協議会	施設長・サビ管 事務主任
ストレス解消の手立て	1 月	土佐市ネットワーク協議会	生活支援員 サビ管
強度行動障害支援者養成研修 実践研修	2 月(2 日)	高知県	生活支援員
意思決定支援研修	2 月	高知県	サビ管
福祉職場 ICT 利活研修	2 月	高知県	生活相談員
清水基金国内研修	3 月(2 日)	清水基金	サビ管
新任職員ステップアップ研修	3 月	福祉研修センター	生活支援員

就労継続支援B型事業所カトレア 事業報告

1 事業の総括

ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者様が地域社会の一員として自立生活を送るための生活面の支援と、就労に必要な知識および技能を高める就労支援をしました。会是の「愛情」「奉仕」「連帯」の精神を遵守し、『個性と可能性を活かすことが成長への第一歩』をスローガンとし、土佐厚生会の経営理念を念頭に置き、事業計画を達成出来るよう職員間で共有を図り、スタッフ一丸となって成果を出せるように努めました。

2 事業報告

事業計画(1) 接遇力の向上

- ア 虐待防止委員会活動の活性化
- イ クラブ活動・つどいの充実
- ウ 支援力向上

ア とさゾーン虐待防止委員会計画書に沿って取り組みを行い、スタッフが不適切支援についての共通認識を持ち支援に努めました。

イ クラブ活動について、年間3回以上を各クラブが活動することが出来ました。つどいは、毎月開催の利用者懇談会でテーマを決め話合う時間を増やし実施することができました。

ウ 事例発表については、各職種が職員会で発表しました。

事業計画(2) 経営の安定化

- ア 稼働率 98%
- イ 就労会計の黒字継続
 - ① 乾燥工場 年間売上額¥13,840,700
 - ② 食品加工部 年間売上額¥5,700,000
 - ③ 喫茶 年間売上額¥2,700,000
 - ④ 請負清掃・空調 年間売上額¥1,420,000

ア 稼働率については、感染症発生時期の欠席や長期入院等の影響にて、年間稼働率は90.9%となり目標稼働率を達成できませんでした。

イ① 乾燥工場

乾燥オクラチップの発注を受けたが、猛暑のため、オクラ生育状況が例年になく不作となり原材料の仕入れ量の確保が出来ず、製造販売量は減少しました。乾燥生姜チップについても発注を受けたが、猛暑のため生姜生産量が減少した事と、飼料などの高騰により生姜仕入額が高騰し、製造販売量は減少となり目標売上額を達成する事ができませんでした。

② 食品加工部

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで対面販売が増え、積極的に出店販売に参加しました。土佐市役所（土佐市主催）で開催される「ハッピーとさテラス」他各種イベントに利用者様と共に出店参加しました。農福連携作業にも積極的に取り組み、目標売上額を達成する事ができました。

③ 喫茶部門

対面販売出店時には、お弁当を製造販売しましたが、わずかに目標売上額は達成することができませんでした。

④ 清掃・空調

新規清掃作業としてファーモニーの清掃を請負、目標売上額を達成する事ができました。

作業部門	令和5年度	令和6年度	予算（目標）
① 乾燥工場	¥16,432,869	¥10,753,405	¥13,840,700
② 食品加工	¥5,545,872	¥5,906,630	¥5,700,000
③ 喫茶	¥2,640,194	¥2,695,538	¥2,700,000
④ 清掃・空調	¥1,480,000	¥1,554,734	¥1,420,000
合計金額	¥26,098,935	¥20,910,307	¥23,660,700
平均工賃	¥25,406	¥25,052	¥23,000

各作業部門が収益率の向上に取り組み、就労会計の黒字化の継続はできました。利用者様に期末手当の支給を実施しましたが、平均工賃は¥25,052 となりました。

事業計画(3) 課題解決・業務改善への取り組み

ア 福祉 QC 活動の推進

スタッフ6名でQCサークルを結成し「作業中の利用者様の眠気について」をテーマに取り組みました。福祉 QC ストーリーに基づき実践をし、11月の職員会と3月に開催の法人就労部会にて「作業中の睡魔」～睡魔の原因を知る。対策とその効果～の題名で発表を行いました。

3 その他事業報告

(1) 月別稼働率の状況

稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用契約者数	23	23	23	23	23	23	23	23	23	22	22	22	22
開所日数	21	22	21	22	20	20	22	21	21	21	19	21	251
出勤延べ人数	426	400	419	437	358	386	407	368	358	337	313	356	4,565
1日平均	20.3	18.2	20.0	19.9	17.9	19.3	18.5	17.5	17.0	16.0	16.5	17.0	18.2
稼働率	101.4	90.9	99.8	99.3	89.5	96.5	92.5	87.6	85.2	80.2	82.4	84.8	90.9

(2) 年間行事等

施設の行事

行 事 名	実 施 日	実施場所
44周年記念舞台公演	8/19	高知県立美術館
秋風祭り	9/25	カトレア
日帰り旅行	10/23	四国水族館（香川県）
クリスマス忘年会	12/25	カトレア

地域住民等との交流

土佐市旬物クラブ（婦人部）の商品開発のアドバイスをを行い、ねぎ塩タレが開発販売されました。継続してねぎ乾燥を地域貢献として請負いました。8/17に青龍よさこい踊り子隊（土佐市）がとさに来訪され、一緒に参加し中庭にて踊りを演舞しました。

クラブ活動 第3土曜日・通所日

クラブ名	内容	実施回数	実施場所
美術	スピリットアート（共同作品）製作・出展、塗り絵、はり絵、画	4回	カトレア
写真	季節の写真、会報誌（スマイル）写真撮影・選択、誕生日カード写真撮影・選択	3回	カトレア 行事实施場所等
音楽	カラオケ、音楽鑑賞、作業のリラクション音楽選曲、CD再生	3回	カトレア
映画	DVD鑑賞、DVD選択・DVD再生	5回	カトレア

係活動

係名	人数	取組みの内容
日直	1人	朝夕のつどい司会、作業予定、曜日・天気の記入
給食	9人	献立発表、献立記入、食器片付け、台拭き、調味料の整理、お茶サーバー準備・片付け
整理・美化	9人	花の水やり、トイレ掃除当番発表、掃除の担当決め・実施、食堂ホールのイス整理
飼育	3人	魚（グッピー、メダカ）の餌やり、水槽の水替え・管理

(3) 防災訓練及び避難訓練等の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
避難誘導	4/10	5/10	6/9	7/10	8/10	9/8	10/10	11/10	12/8	1/10	2/9	3/8	12回
消火			6/21					11/8					2回
通報			6/21					11/8					2回
地震	4/10	5/10	6/9	7/10	8/10	9/8	10/10	11/10	12/8	1/10	2/9	3/8	12回
図上			6/21					11/8				3/8	3回
水害対応		5/10										3/8	2回

地震訓練を毎月工賃支給日に実施する事で、南海大震災に備えた避難について利用者様の意識付けが出来るように取り組みました。

(4) スタッフの配置状況（令和7年3月31日現在）

職種名	所長	管理責任者 サービス	生活支援員	職業指導員	合計
職員配置数	1 (0.4)	1	1	4 (3.8)	7

(5) 施設への苦情等件数

受付先	件数
カトレアの苦情等の申出窓口	0
とさ地区施設運営委員会	1

(6) スタッフの外部研修への参加状況

研修・セミナーの名称	開催期間	主催	参加者
高知県社会就労センター協議会総会	7 月	高知県社会就労センター協議会	所長
工賃向上推進セミナー	11 月・1 月	高知県	サビ管 職業指導員
福祉サービス苦情解決セミナー	9 月	運営適正化委員会	所長
中・四国社会就労センター協議会・施設長研修会	11 月(2 日)	中・四国社会就労センター協議会	所長
中・四国社会就労センター協議会・職員研修会	11 月(2 日)	中・四国社会就労センター協議会	生活支援員
社会就労センター協議会職員研修会	1 月(2 日)	社会就労センター協議会	所長 生活支援員
意思決定支援研修	2 月	高知県	サビ管

